

令和7年度 第1回古牧公民館運営審議会概要

- 1 日 時 令和7年6月6日（金）午前10時25分～午前11時55分
- 2 場 所 長野市立古牧公民館 学習室
- 3 出席者 審議会委員 9名
若麻績茂伸委員、小林信男委員、伊藤一之委員、岩佐純子委員、
後藤幸子委員、柴芳夫委員、白水園枝委員、中山節子委員、
七ッ矢寿子委員
（欠席委員1名：寺島努委員）
事務局 2名 赤井智志館長、宮下静専門員

4 委嘱書の交付 新任委員3名に委嘱書を交付

5 諮問事項

- （1） 令和6年度 古牧公民館事業報告について
- （2） 令和7年度 古牧公民館の運営について

6 会議概要

別添、令和7年度長野市立古牧公民館運営審議会資料により、上記諮問事項に関する説明を行った。

7 主な質疑応答

委員：キラキラ子育て学級について、来年度は開講が危ういというが、開講式から閉講式まですべての回に参加しなければいけないのか。みんなで子育てを応援する風潮の中で、自由に参加できるのであれば、出られる親子の期待に答えてもらいたい。学級を存続できる方向で、広報の仕方を工夫していただきたい。回覧だけでなく、住民自治協議会の子育て支援部の皆さんや各区の子育ての場で広報するなど考えていただきたい。

事務局：すべての回に参加しなくてもよい。児童センターにチラシを置いたり、ホームページ等で載せたり、また、周辺の公民館や生涯学習センターでもチラシを配布したりした。今年度は民生児童委員協議会の「にこにこ広場」や更生保護女性会の「親子あそびの広場」と重ならないよう曜日も変更したが、参加者は減った。2・3歳児向けだけでなく小学生向けの講座も考えていくなど、存続できるよう工夫していきたい。

委員：2・3歳児に限定している理由は。アンケートを取って曜日を決めたらどうか。

事務局：学級の開始当初は2・3歳児の母親が在宅でいたので、その親子を対象としていたが、共働きが増え、また、途中でパート勤めを始めたため参加を辞めたりして、参加者が減ってきている。

委員：メニューは変えずに来たい方はどうぞ、と柔軟にPRを。民生児童委員協議会で

っている「にこにこ広場」も、各区で行っている子育て支援について、12区どこの会場に行ってもよいとチラシに記載した。4・5月は参加者が思ったより少なかったが、地区以外から来た方もいた。口コミで増えていく。

事務局：周辺の市立公民館で開催している子育て関係の講座も、参加者は減少しているのが事実ではある。存続できるよう、途中参加でもどうぞ、とチラシに記載するなど工夫していきたい。

委員：おばあさんでも参加可能にしたらどうか。

事務局：お父さんでもおばあさんでもお子さんを連れてきてくれれば参加可能と、チラシに記載したい。

委員：民生児童委員協議会でもPRする。

委員：親子だけでなく、各区の見守りボランティアなどの方が参加してもよいか。

事務局：更生保護女性会の皆さんにもボランティアとして、ご協力いただいている。子供の見守りや交流したい方もどうぞと、工夫していきたい。

委員：SNSでの募集も検討を

委員：いきいき古牧学級の「古牧歴史探訪」で使う「史跡マップ」は、全戸配布しているが、住民自治協議会の予備が少なくなっている。古牧地区郷土史研究会で資料を用意するのか。

事務局：マップがきっかけで始まった講座だが、資料は各区の郷土史研究会で用意している。

委員：古牧地区の老年人口が減ってきているというが、若い人が入って来ている地区がいい、というものでもないし、老年人口の割合が減ったからいい、というものでもない。

事務局：現在の古牧地区の特徴として話したもの。言い方に語弊があったら申し訳ない。

委員：運営にどう反映させるかということ

事務局：若い方が多いので、親子学級や少子化関連の学級を充実させていくことが根底にある。

委員：公民館が古くなってきている。住民自治協議会として、家庭・地域学びの課にいろいろ修繕要望を出している。公民館の駐車場について、東側の駐車場が満車になったら臨時駐車場に回ってもらうような案内図を記載した看板を設置するよう、住民自治協議会から家庭・地域学びの課に要望している。現在は職員が誘導している上、臨時駐車場の草刈も、住民自治協議会や支所・公民館の職員で年2・3回も行っている。駐車場の体をなすよう、臨時駐車場を舗装する要望も伝えている。目的外の駐車も見受けられるので、監視してほしい。

委員：昨年、住民自治協議会公民館部でも草刈を行った。

事務局：現在も駐車場があふれそうなときは、多人数の団体に臨時駐車場に止めてもらうようお願いしている。今後も貸館予約の受付段階で、駐車場のことも考慮して調整に努めていく。

8 その他

事務局から、「長野市施設案内予約システム」について説明した。

委員からは、情報の早期提供や、利用団体への説明会開催要望が出た。